門真市第1地域包括支援センター活動計画書、活動報告書（令和6年度版）

資料4-①

●令和6年度当初の値

圏域内の居宅介護支援事業所数	8
主任介護支援専門員の人数	28
介護支援専門員の数	17

●令和6年度のケアプラン総数

基準月	ケアプラン作成数	直持ちプラン件数	委託プラン件数	委託率 (%)
令和6年3月	210	7	203	96.7%
令和7年3月	203	8	195	96.1%

R6.12月時点 稼田3件 坂本3件 三上2件

事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績		当該年度実績		自己評価	前年度の反省を踏まえた当該年度目標	上半期の活動内容のまとめと課題	上半期実績に対する市の講評	当該年度活動内容のまとめと課題	当該年度活動実績に対する市の講評		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数								
ケアマネジヤル業務	事例検討会	1		2		1	14	0	0	6	395	3	地域住民や利用者のニーズに合わせた高品質の支援サービスを提供するため、専門的な知識とスキルの習得を目指し、地域の福祉、医療、介護に関する情報や知識の向上を図ります。また、地域の連携やネットワークを構築し、ケアマネ同士で情報交換ができる仕組みを整備します。	利用者ニーズ調査などを検討。職員研修（メイト養成・虐待対応・認知症推進）を推進し、専門性向上。ケアマネジャーとの連携強化、認知症カフェに対してケアマネジャーの参加者増加、K3会議での検討会実施など、地域連携を深化。今後は地域住民と事業所と連携し、防災対策を強化検討（訓練を予定）。	事例検討会11月、9月には法定外研修を開催予定である。元気がつらつ教室は委託が難しい状況。事業所の受け入れが少ないこと等の課題があるため、課題解決に向けて、引き続き市に協力していただきたい。ネットワーク会議等については順調な回数と数字であるため、継続していただきたい。地域住民と事業所の連携を今後も継続してもらいたい。	事業所、地域住民の協力が不可欠にに対して包括として医・介・福祉の連携を少なくする対応を今後もお願いしたい。さまざま、事業所があるが包括としてフォロー体制がとられており、今後も事業所のフォローをお願いしたい。		
	うち、他圏域との合同開催数			9				0	0	4	260	4						
	研修会（法定外研修含む）	2		3		4	200	0	0	4	260	4						
	うち、他圏域との合同開催数			3				1	78	3	182	4						
	ネットワーク会議（圏域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など）	2		27		27	200	14	169	28	360	4						
	元気がつらつ教室利用者数（直持ち）						0				5	3						
	元気がつらつ教室利用者数（委託）		20								2	2						
元気がつらつ教室終了後ケアマネジメントB算定件数（3か月後/6か月後）		12				0				5	3							
ケア地域会議	個別地域ケア会議 延べ件数（実件数）	延べ3		延べ5		1	延べ4		延べ2（実2）			3	地域住民のニーズを把握するため、アンケートやコミュニケーションを積極的に実施し、その内容で出た課題を圏域会議でさらに充実して生かしたい。引き続きネットワークを活用し開催を検討します。	健康増進を図る取り組みを継続し、地域住民との関係性を深め継続的な活動をサポートしてまいります。圏域ケア会議で猫問題を取り上げ、ボランティアとの会議等に参加し、資源開発につながるよう検討されていることは非常に評価できます。	地域住民のニーズを把握するためアンケートを実施し、課題を圏域会議で下げます。資源不足を感じ、高齢分野の支援可能性をネットワークで察知していきます。	地域住民のニーズを今後アンケートを通して把握し、必要な支援の分析を行い課題調査を今後すすめてもらいたい。		
	圏域地域ケア会議	1		2		1	20	1	36	2	56	3						
把介護予防	基本チェックリスト実施件数		30		48		50		27		48	2	各教室イベントなどで基本チェックリストを活用し、事業対象者相当のお宅に訪問し、介護予防把握に努める。	各教室イベント等において、基本チェックリストを用いた訪問を実施し、介護予防の把握に努めています。目標50件に対し、現時点で27件を達成。引き続き、各会場での実施を継続して介護予防の把握を目指します。	上半期は順調な件数であるため、引き続き、介護予防の把握に努めてもらいたい。	同一の利用者が増加しているため、今後は教室での実施を控え、新たな場所での実施を検討します。	年間を通して 目標以上の実施をしていただいているが、課題としていた新たな場所でのチェックリストを活用した介護予防の把握に努めてもらいたい。	
	上記のうち総合事業につなげた件数								2		6							
普及介護予防事業	介護予防教室	12	120	18	224	12	120	9	128	17	221	3	介護予防の正しい情報を定期的に発信し、地域住民の意識向上を図るとともに、地域住民が介護について理解を得ることで、地域包括支援センターの相談に早期につながる。早期対応することができ、地域住民の健康増進や介護予防につながる取り組みを検討しながら教室を開催していきます。	介護予防に関する正しい情報を定期的に発信し、地域住民の意識向上を図るとともに、地域住民が介護について理解を得ることで、地域包括支援センターの相談に早期につながる。早期対応することができ、地域住民の健康増進や介護予防につながる取り組みを検討しながら教室を開催していきます。	教室や出前講座の回数が多くなっていることが多くあります。食事会や防災、運動等様々なテーマで教室を開催し、淡々と話を進めてもらうだけでなく、参加者に質問をしたり、和やかな雰囲気の中で実施できるように工夫を凝らしてまいります。介護予防につながる取り組みを今後も継続してまいります。	介護予防の正しい情報を定期的に発信し、地域住民の意識向上を図るとともに、早期に地域包括支援センターへ相談が促進され、迅速な対応できるようになっていきます。相談の数は教室の参加者から紹介で連絡したという件も出てきています。介護予防教室を通して地域のつながりが生まれ、通いの場も増えていきます。	参加人数が減ってきていることに対して、原因分析も課題としておこなわれ、参加者を増やす努力をされているという話があったため、今後も参加者を減らさないように努めてまいります。また、介護予防教室を通して地域包括支援センターの認知度が上がり、引き続き包括も関わっていただき、開催支援をお願いいたします。	
	うち、他圏域との合同開催数			0	0	0	0	0	0	0	0	4						
	出前講座			3	60			13	218	16	262	4						
	うち、他圏域との合同開催数							0	0		0	4						
	介護予防教室・出前講座以外の普及啓発活動	1	10			1	10	1	10	3	76	4						
地域介護予防活動	通いの場の開催支援	10	100	6	101	10	100	8	74	14	123	4	地域住民や生活支援コーディネーターと共に通いの場の構築が必要であるとされています。現在通いの場がない地域への動機づけ支援を積極的に行っていきます。引き続き、市と共同で運動サポーターの養成と通いの場のメニュー作りを実践していきます。	今年度は、運動以外の活動として、認知症の予防、運動、幸福西町を新たに開設しました。9月には高齢者へも訪問し、新たな通いの場開設に向けて動き出します。これらの取り組みを通じて、高齢者の孤立防止と地域コミュニティの活性化を目指します。	ボランティア等の養成や活動支援について、明確に役割を分担していただくようお願いしてまいります。また、通いの場の構築に協力していただくようお願いしてまいります。また、通いの場の構築に協力していただくようお願いしてまいります。	地域住民や生活支援コーディネーターと共に通いの場の構築が必要であるとされています。現在通いの場がない地域への動機づけ支援を積極的に行っていきます。引き続き、市と共同で運動サポーターの養成と通いの場のメニュー作りを実践していきます。	通いの場の再開などの支援を積極的にさせていただきます。また、通いの場の構築に協力していただくようお願いしてまいります。また、通いの場の構築に協力していただくようお願いしてまいります。	
	通いの場の専門職（リハ職等）派遣（派遣回数と通いの場の人数）	3	15	4	51	4	51	3	27	8	89	3						
	ボランティア等養成及び活動支援	1	10	4	60	12	100	0	0	0	0	2						
	うち、他圏域との合同開催数			0	0			0	0	0	0							
介護予防拠点の開設	地域包括支援センターが関わりのある通いの場の数と参加者数			8	110	8	110	14	140	17	163		昨年度から続けている通いの場の開催を行い、地域のニーズに基づいて拠点づくりに努めます。	不参加の自治会向けに事例紹介や地域資源活用等の情報を盛り込んだ通いの場開催を不定期で行うことを検討中（年度内に作成ができるかは未定）。具体的な内容は、他の地域の成功事例や、参加者数などの数字、参加者の興味を引く情報を盛り込む予定です。	上半期は「編み物クラブ」の通いの場を立ち上げました。引き続き、通いの場の推進と地域ニーズに合った活動をしてもらいたい。	下半期は声はかけているが開催できていません。通いの場の推進と地域ニーズに合った活動をしてもらいたい。	通いの場がない地域への動機づけを積極的にさせていただきます。また、通いの場の構築に協力していただくようお願いしてまいります。	
	年度内に立ち上げた通いの場数と参加者数	1	5	1	20	1	5	3	23	3	23	4						
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム発動件数		2		0		2		0		1	3	認知症初期集中支援チーム発動件数をすこしでも増やすこと、現在行っている認知症カフェを継続して続けていく。さらに、認知症サポーターステップアップ講座の開催数を増やし認知症への理解を広げていくことで、認知症支援のネットワークを強化することを年度目標とします。	下半期は、通いの場と認知症カフェについて、認知症に関する取り組みを強化していきます。具体的には、通いの場ではステップアップ講座を開催し、認知症に関する知識を深めます。また、認知症カフェでは、認知症の方に向けたマップなどの活動を開始していき予定です。	認知症マップ（認知症の方が持ちやすいように簡易なマップに作りかえたもの）を、筒の中で自由に手を入れ、飾りをつけて楽しんで、落ち着くことができる。を手芸等をしている通いの場に紹介して、それが認知症の方の活動につながるようにつなげていく予定です。また、通いの場の開催も合わせて活動支援をさせていただきます。	認知症初期集中支援チーム発動件数をすこしでも増やすこと、現在行っている認知症カフェを継続して続けていく。さらに、認知症サポーターステップアップ講座の開催数を増やし認知症への理解を広げていくことで、認知症支援のネットワークを強化することを年度目標とします。	通いの場では認知症マップ作成し、それを施設に寄贈する活動が高齢者の成功体験になり、高齢者の自己肯定感の向上を目指すなど、高齢者の自尊心を高める活動の開催を推進していきます。今後も認知症サポーターを増やし、認知症理解を広げる活動の継続をお願いいたします。	
	認知症カフェ（立上り及び開催支援）	1	5			1→12	15→180	5	57	12	128	4						
	認知症サポーターステップアップ講座	1	10		2	29	2	30	0	0	1	15						2
	うち、他圏域との合同開催数							0	0	0	0							
	ボランティア等養成及び活動支援	1	5			1	5	0	0	3	246	3						
	うち、他圏域との合同開催数							0	0	3	246							
任意事業	家族介護教室	1	5	11	111	10	100	2	30	10	145	3	前年度と同様にはなるのですが、今年度も認知症メイト連絡会と合同で、門真市内で年間500人のサポーターを募集することを目標とします。現役世代のコンビニエンスストア、金融機関、交通機関関係の方々に向けて、養成講座のチラシ配布を行います。また、ジュニアサポーター養成講座も共同で開催を目指します。	メイト協議会事務局より、校長会・認知症養成講座ジュニアの提案を予定しております。現在、認知症ステッカー、ポスター、周知ビデオの作成を予定し、包括メイトを持っていない職員2名のメイト研修を予定しています。ポスターを各店舗に配布し、養成講座の実施を通じて、地域全体で認知症への理解を深めてまいります。	家族介護教室・認知症サポーター養成講座は下半期は開催予定である。また、社会福祉協議会の家族ステッカー、ポスター、周知ビデオの作成を予定し、包括メイトを持っていない職員2名のメイト研修を予定しています。ポスターを各店舗に配布し、養成講座の実施を通じて、地域全体で認知症への理解を深めてまいります。	前年度と同様にはなるのですが、今年度も認知症メイト連絡会と合同で、門真市内で年間500人のサポーターを募集することを目標とします。現役世代のコンビニエンスストア、金融機関、交通機関関係の方々に向けて、養成講座のチラシ配布を行います。また、ジュニアサポーター養成講座も共同で開催を目指します。	中学生への認知症や高齢者理解を進める出前講座や認知症サポーターの動員を促進していることは大変評価できます。今後、また増加する認知症患者や高齢者理解を子どもたちから現役世代までがすることで地域を支えることが可能になると思われるため、今後も市と共同して高齢者理解に努めてまいります。	
	出前講座等を含めた普及啓発（家族介護教室）							1	19	3	50							
	認知症見守り教室	2	10	9	99	9	80	4	51	10	136	4						
	出前講座等を含めた普及啓発（認知症見守り教室）							3	20	1	110							
	介護者家族交流会（立上り及び開催支援）	1	5	2	20	1	5	3	20	7	40	4						
	介護者家族健康相談	1			0		3				0	1						
	認知症サポーター養成講座（一般）	2	10	3	63	4	70	0	0	3	58	4						
うち、他圏域との合同開催数							0	0	0	0								
認知症サポーター養成講座（ジュニア）	1	10	3	63	1	10	0	0	0	0	2	門真市：認知症キャラバンメイト連絡会にて認知症サポータージュニア養成講座について検討を行った。						
うち、他圏域との合同開催数							0	0	0	0								
対面相談	夜間・休日に対面して相談対応した件数（計画の記載は不要）	実人数	延人数															
		1	1							1	1							